

Day

3

タイトル

3. TICAD VIIへ向けた行動計画と中間報告
(2) アンケート調査の結果とTICAD VIIでのアフリカ廃棄物プロフィールの公表

発表者

JICA「アフリカ地域廃棄物管理情報収集・確認調査」総括 森郁夫

発表者は、アンケート調査の概要、およびアンケート調査結果に関し、以下のとおり説明した。

要約

アンケートは、ACGP加盟国・都市における廃棄物管理に関する情報を効率的に、すなわちインターネットを通じて収集するために開発された。その結果は、「アフリカ廃棄物管理プロフィール」作成のための基礎データとなり、2019年に横浜で開催されるTICAD VIIで発表される予定である。「アフリカ廃棄物管理プロフィール」は、廃棄物管理にかかる情報を加盟国/都市間で共有し、それらを蓄積するための基礎となり、国/都市、ドナー、投資家などに意思決定のための情報を提供することを目的とする。アンケート調査は、国または都市のプロフィールを作成するための第一歩であるが、そのためのプロセスとしていくつかの方法がある。フォーカルポイント自身がプロフィールを作成するか、JICA調査チームがフォーカルポイントに対しインタビューを行うか、JICA調査チームが各国/都市を訪問し現状について調査を行うかである。フォーカルポイントは、JICA調査チームに好みの意向を伝える必要がある。また、JICA調査チームは、人口30万人以上の中規模都市について同様のアンケート調査を実施することを提案している。現段階では、2つの国プロフィールと2つの都市プロフィールのみが作成されているが、今後約60の国・都市のプロフィールを作成する必要がある。

アンケート調査結果に基づくと、中央レベルの政府機関の多くは、地方政府と廃棄物管理に関して良好なコミュニケーションを行っているといえる。多くの国では廃棄物管理に関する国家基本法が存在するが、そのほとんどは法の執行に問題がある。廃棄物管理に関する既存の法律のほとんどは、衛生環境保護の観点から策定されているようである。少数の国だけがリサイクルに関する法律を持っている。国家レベルでのデータ収集に関しては、廃棄物の発生、収集、処分のデータは十分に管理されているようである。しかし、リサイクルやその他の処理にかかるデータはほとんど把握されていない。中央レベルでは、堅固な財務システムの確立、技術的課題に関する能力開発などのニーズが表明されている。都市のほとんどは、廃棄物の収集量を把握しているが、計量台がない。これは、これらの都市が扱うデータが不正確であることを意味している。ほぼすべての都市において、民間部門が廃棄物管理サービス(例えば、収集や処分)に従事しており、彼らは多くの都市でうまく機能しているといえる。都市は廃棄物管理のための財源を確保する必要性を強く表明しており、技術的な問題では、最終処分場の改善の必要性を強調している。